

文部科学省 平成21年度事業 組織的な大学院教育改革プログラム  
“グローバルな文化財修復技能者の実践的養成”  
文化財保存科学の知識を有する国際的文化財修復技能者養成プログラム

## 修了展によせて

文化財は、文化の中核をなすものであり、次世代の人たちに文化そのものを伝えていくためには、文化財が適切に保存修復され後世へ引き継がれていかなければなりません。また、過去の文化財から現代に活かすことができる情報を取り出し活用策を提案していくことも必要です。そのためには、保存科学の知識を有する文化財修復技術者、そして文化財に秘められた情報を発信できる専門技術者を養成しなければなりません。

今回の修了展では、西洋美術修復研究分野から2名、東洋美術修復研究分野から3名、文書典籍修復分野から4名、文化財保存科学研究分野から1名、そして文化財情報学研究分野から1名の院生が修士論文研究の成果を発表いたします。それぞれの研究成果は、院生各自が2年間の研究活動を集大成したものです。

皆様には、院生各自の今後の活躍に期待していただき、励ましのお言葉を頂きたくお願い申し上げる次第です。

大学院GP取組代表者  
大学院文化財保存修復学研究科  
研究科長 下山 進